

# 社会で活きる実践的な力を身につけ、 キャリアを広げる教育学部がスタート

聖徳大学

SEITOKU University

就職や合格実績のみならず  
卒業生たちの質の高さに定評

「保育の聖徳<sup>®</sup>」としての伝統を誇る聖徳大学。児童学部では、これまで多くの保育士、幼稚園教員、小学校教員を輩出してきた。保育士採用数15年連続全国第1位、幼稚園教員採用数8年連続14回目全国第1位（2020年3月卒業生実績）。（2020年大学通信調べ）、公立小学校特別支援学校教員正規合格者数125名（2017年度）2020年度（現役）など、高い実績を誇っている。

現場で活躍する卒業生たちは、教員や保育者としての質の高さにも定評がある。「学生が作成する教育実習ノートのボリュームの厚さにその秘密があります」と副学長である増井

三夫教授は語る。「観察記録にとどまらず、子どもたちの変化を追うことに主眼が置かれています。実習は事例研究の宝庫なのです。現場で育まれた「子どもを評価する力」「問題解決力」が卒業後に活かされている。

教科の専門性を高め  
実践的な指導力を身につける

その児童学部が、2022年に教育学部となる（4月設置予定 構想中）。保育士・幼稚園教員を育てる「児童学科」と小学校教員を養成する「教育学科」の2学科を擁する。

教育学科では、子ども理解の深さに加え、小学校教員として中学校あるいは高等学校レベルの教科の専門性をさらに高めていく。子どもが中学校へ進学した時、勉強の違いによるギャップ

に悩むケースは多い。そこで、小学校から中学校へ、さらに高校までの学習の連続性を見据え、教科担任に充分に対応できる指導力を養っていく。

必要となるのは、教員養成に特化した教育体系だ。例えば、文学部や理学部で学ぶ内容を子ども向けにわかりやすくすることが教員の役割ではないと、増井副学長は語る。「『源氏物語』に取り組みにしても、文学部では作品そのものを研究しますが、教育学部では、作品を題材に話し合うためのコミュニケーション力を磨いたり、子どもたちはどのように感動するのかを研究します。教育学部で学ぶ意義はそこにあります」。

さらに、研究者教員と実務家教員の組み合わせによる指導も特色となる。教科を体系的に学習しながら、教育現場での経験豊富な教員から



（左上）理論と実践をバランスよく学び、即戦力となる教育者、保育者を目指す。教育実習では観察記録をつけ、子どもたちの変化を継続して追うことで、質の高い教員・保育者の素養を培う。（右上）ピアノや創作人形劇などの学びを通じて「表現する力」「実践できる力」「応用する力」を育み、即戦力として活躍できる教員・保育者を育成。（左）教育現場の新たなニーズに応え、語学教育やICTにも力を入れている。教育に限らず、社会のあらゆる場で活かせる力を身につけることで、幅広いキャリアを視野に入れることが可能だ。

教員・保育者輩出の高い実績を誇る聖徳大学の児童学部。2022年に教育学部へと進化する。「和」の精神に基づいた聖徳ならではの教育を踏襲しながら、従来の教育学部の枠に収まらない教育を目指す。

取材・文／永谷良夫

全国の女子大学で  
**第2位の就職実績!**

※卒業生500人以上の女子大の実就職率ランキング  
2020年大学通信調べ

実就職率  
**96.1%**

2020年3月卒業生実績(就職者数741名) 数値は大学のみ  
※実就職率=就職者数÷(卒業(修了)者数-大学院進学者数)×100

教育系就職率  
**100%**

就職者数468名  
(2020年3月卒業生実績)

幼稚園教員採用数  
保育士採用数  
**全国1位**

※2020年大学通信調べ

2022年4月設置予定 構想中  
児童学部は**教育学部**として、新たな挑戦を始めます。

教育学部 児童学科

児童学部 児童学科

幼稚園教員養成コース

保育士養成コース

児童心理コース

児童文化コース

小学校教員養成コース

特別支援教育コース

スポーツ健康コース

幼稚園教員養成コース

一人ひとりの子どもの個性を伸ばし、  
未来を創る高い専門性を備えた保育者に。

保育士養成コース

多様化する保育現場のニーズと  
課題に応えられる質の高い保育士に。

児童心理コース

子どもの個性にみちた発達を探究し、  
その実現に挑む人材を育てます。

児童文化コース

子どもの文化や遊びを探究し、  
表現力や創造性を育てます。

教育学部 教育学科

小学校教員養成コース

子どもたち一人ひとりと真摯に向き合い、社会に開かれた  
教育を実現する次世代の初等教育の担い手となる。

特別支援教育コース

子ども、保護者、社会、すべての教育の場で、誰もが認め合える  
共生社会を実現するインクルーシブ教育の担い手に。

スポーツ教育コース

からだを動かす楽しさ、スポーツの魅力を伝えられる  
スポーツ指導者の育成を目指します。

指導法を学ぶことで、専門性と実践  
の融合を目指す。

幼児教育 保育における  
リーダーを養成する

一方、児童学科が目指すのは、幼児  
教育・保育におけるリーダーとなる  
人材の養成だ。今、現場では、園の運  
営を把握し、園長や副園長の実務を  
補佐したり、若手をまとめ、経営陣と  
の橋渡しができる存在が求められて  
いる。そこで、「危機管理」「行事運営」  
などの指導法開発の授業を設け、従  
来の教員・保育士養成教育とは異な  
るアプローチで学んでいく。「現場の課  
題を自ら見出し、チームワークによつて  
解決に導いたり、同僚とのスムーズなコ  
ミュニケーションだけでなく、良い所を  
伸ばすことができる保育者を輩出し  
ていきます」と増井副学長は言う。

また、保護者に対する幼児教育の  
啓発の重要性が高まる中、保護者と  
的確にコミュニケーションを取り、信頼  
関係を築き、地域と連携していける  
力も育てていく。

ICT教育や英語教育など  
現場の新たなニーズにこえる

現代社会のAIやICTの発達は、  
教育にも変化をもたらしている。教

育学科では学生全員がノートパソコン  
やタブレットの携帯が義務づけられ、  
ICTの基礎的なスキルを1年次より  
習得。プログラミング学習も導入さ  
れる。また、グローバル化に伴う、子ど  
もや保護者の国籍の多様化に対応す  
るため、語学学習にも力を入れる。4  
年次の段階での実用英語技能検定  
2級取得の全員義務化や海外の小  
学校でのオールイングリッシュ研修も  
予定されている。

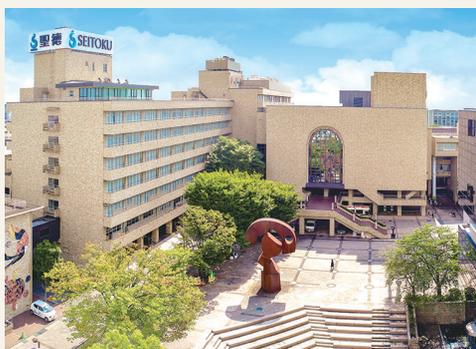
「新たな教育学部で養うのは、社会  
のあらゆる場で活かせる力です。卒  
業して、一般企業で活躍してもいい。教  
員養成という枠に縛られず、「キャリア  
Aの幅を広げられる教育学部」を目  
指します」。

「夢が使命感に変わる」  
聖徳で育まれる人間性

現在の児童学部で学ぶ学生たち  
は、子どもの成長に責任を負う教員  
や保育者を目指し、免許資格を取る  
ための学びではなく、児童学・教育学  
の研究を深めながら、自らの成長に  
も努めている。そんな学生生活の過  
程で、教員や保育者になる「夢」が「使  
命感」に変わっていくという。その根  
底には、他者の幸せのために努力を  
惜しまない、聖徳だからこそ育まれ  
る人間性がある。「教育を通して人  
間形成に寄与したい」との志は教育  
学部により進化した形で引き継が  
れていく。

Information

聖徳大学



女性総合大学として、自立した女性として世の中を凛として  
生き抜くための豊かな教養、高い専門性、他者を思いやる協  
調性とそれらを発揮するための基礎力を着実に育む。児童  
学部、心理・福祉学部、文学部、人間栄養学部、看護学部、音  
楽学部、短期大学部を擁し、教育・保育のみならず、管理栄  
養士、看護師、福祉分野でも高い実績を残している。

DATA

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550  
TEL 047-366-5551 (入学センター)  
URL <https://www.seitoku-u.ac.jp/>